

コミュニケーションカードと音声ペン



☆ 活動における支援・手立て ☆

発語が無く、高度難聴の生徒に対して「～やりたい、あいさつ」などの意思表示や、「人・場所」が分かり見通しをもって活動することができるように作成した。また音声ペン（G-Talk：グリッドマーク株式会社）を併用することによって支援者も本人の意図や思いをくみ取ることができるようにした。

音声ペンに言葉を録音してバーコードに入れておくことで、朝の会の司会や発表などのときに代替コミュニケーションの一つとなると考えられている。

♪ 生徒の様子 ♪

初めは音声ペンの使い方が分かず戸惑う場面が見られたが、慣れてくると本人も見通しが持つことができた。特に朝の会や帰りの会では自ら音声ペンとサインで司会を行うことができた。学習の中で発表するときにも活用するため、今後バーコードと絵カードを充実させていき、より多くの人に意思や思いを伝える事ができるようになってほしい。